

ふるさと納税制度を活用した地域全国に向けた情報発信とファンづくりの取り組み

パートナー：株式会社新朝プレス

20班 コミュニティデザイン学科 秋葉花来 松永桜季 村上愛海
建築都市デザイン学科 齋藤雄太 篠崎侑晟 角田麟太郎 寺尾悠花
社会基盤デザイン学科 内田晴也 鹿沼佑大
グループ指導教員 遠藤康一



背景

ふるさと納税の利用が全国的に増えていて寄付額は5年連続で過去最高を更新し、制度の認知と参加の広がりを見せている一方で、**寄附額の競争に偏り、制度本来の目的である地方創生や地域格差の是正といった意義が見えにくくなっている**。そのため、地域の魅力や人の営みを丁寧に伝え、共感を生む情報発信が必要である。

目的

ふるさと納税を単なる寄付の仕組みとしてではなく、地域との接点づくりや地域の魅力発信の手段として活用する方法を考察し、**地域のファンの増加と継続的な関係**を促す一助となる取り組みを実践する。



調査①

ふるさと納税の現状を知るため、自治体(宇都宮・鹿沼・那須)へ訪問し、ヒアリング調査を行った。
質問内容:ふるさと納税の寄付状況・ふるさと納税が市町に与えた影響・取り組み・課題感・改善点など

宇都宮市	鹿沼	那須
・ふるさと納税の利用で交流人口が増加 ・試しに商品を購入することでファンをつくる ・体験型の返礼品の利用で実際に訪れてもらいたい	・ふるさと納税のおかげで鹿沼のものが色んな人、場所に届くようになった ・利用の理由はどうであれ、選んでもらう過程の中で鹿沼市を知ってもらえる	・関係人口を増やすためにSNSでの発信を行っている。しかし、予算上、外注が難しく、職員が発信作業を行っていることが課題



●まとめ

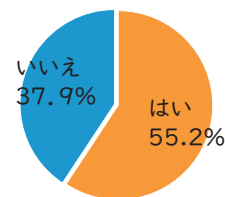
「**関係人口**」
ブランド力や体験価値を通じた「**人との接点**」が**地域づくり・地域のファン獲得**には必要

調査②

ふるさと納税利用者側からの意見を得るため、宮祭りでのグループフォームを用いた街頭アンケートを実施。20代～70代の男女49名が回答。(以下は質問と回答を一部抜粋したもの)

返礼品を選ぶ際に最も重視することは何ですか？	返礼品のどのような部分に惹かれますか？	ふるさと納税の情報収集に関してどのようなメディアを使いますか？	どのような情報を検索しますか？
1位 欲しい返礼品の категорияから選ぶ 2位 返礼品のランキングを見てそこから選ぶ 3位 応援したい地域かどうか	お得感・地域貢献感・特別感	ふるさと納税寄附サイト(楽天・Amazon)・webサイト(自治体公式)・SNS	返礼品の魅力・地域の魅力・生産者の魅力

寄付先を選んだ地域に行きたいと思うか、または、実際に行ったことがあるか？



2つの調査からの分析結果

【利用者の意見】

- ・ふるさと納税において重視するポイントは「返礼品の内容」・「応援したい地域かどうか」
- ・特設サイトやSNSで調べるポイントは「**返礼品とその生産者の魅力**」
- ・返礼品の「**特別感**」・「**地域貢献感**」に惹かれる

【自治体の意見】

- ・商品を買うだけでなく、**実際に訪れてもらいたい**

「返礼品としての認知度や商品としての魅力だけでなく、生産者や地域の魅力も重要視されている」

「ファン獲得には地域に対する**“愛着”**がキーワード」

ふるさと納税と地域への“愛着”を繋げる方法の検討～宇都宮・大谷の魅力やPRする動画の制作～

宇都宮市内を対象として調査し、ふるさと納税の返礼品があり、観光資源である「大谷エリア」の周知を目標として12月中旬に取材

【KANEHON採石場】

今も採掘場として使用されている場所をどのように観光施設化しているのか、実際の来場者の様子や自分たちで体験した感想とともに動画にした。

【シュヴァリエ】

採石場跡をワインの蔵として活用している企業のこだわりと、大谷に対する思いに焦点を当て、天然地下蔵が温度・湿度を一定に保てるという特性がワインのおいしさを支えていることを伝える紹介する動画を制作した。



提案

分析結果から、地域のファンを増やしていくためには地域について「まずは**知ってもらう**」ことが必要と考えた。そのため、食品と体験施設、両方の返礼品がある宇都宮市「大谷地区」を対象として、「シュヴァリエ」と「KANEHON採石場」で取材を行い、大谷地区のPR動画を2本作成した。返礼品自体の魅力と大谷の魅力・知名度向上を目的とし、SNS(もんみや公式Instagram)に投稿した。

今後の課題

地域のファンや愛着を獲得していくためには一時的ではなく、**継続的に複数のツールで情報発信**を続けていかなくてはならない。また、今回は観光地への取材のみであったため、今後は自治体や事業者への意見も交えていきたい。

